

倫理審査委員会議事要旨

1. 日時 令和元年5月16日(木) 15:11 ~ 15:23
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、薬物依存治療部長、事務部長、薬剤科長、看護部長、
矢崎外部委員、山岡外部委員
庶務班長(書記)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

課題名① 精神科看護師における急変時対応に対する意識
(申請者 看護師(2-2病棟) 宮崎 奈那(新規))

申請者

- 倫理審査申請書に沿って説明。
(調査方法の変更及び共同担当者の変更があったため再度倫理申請)

委員

- 前回と変わった所は一人担当者が変わったこととボイスレコーダーを使用するという点でいいか。

申請者

- そうです。

【審査結果】

課題名① 精神科看護師における急変時対応に対する意識

この課題は前に承認されているが、ボイスレコーダーを使うというかなり大きい追加事項があったので、再申請となったが、特に問題がなければ承認してよろしいか
→承認とする。

課題名② 精神科における転倒に關与する薬剤関連因子の検討(後ろ向きコホート研究)
(申請者 薬剤師 小泉 貴司(新規))

申請者

- 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

- 患者への同意は個別に取らず、本研究の対象、研究内容等を記載した公告文を病棟、外来、薬剤窓口に張り出すといことでもいいか。

申請者

- そうです。

委員

- ネットに載せることはしないのか。

申請者

- 病棟の入院している患者が対象なので患者は見れないと思うので、病棟にお願いすることになります。当院にネット環境があるなら載せてもよい。

委員

○ 対象期間内に入院歴のある患者が500人程度となっているが、この中で転倒している方は何人位いますか。

申請者

○ 現在、調査中であるが去年の調査したデータであり、その時は半年間で60人～80人はいました。

委員

○ 転倒の定義は、看護師が転倒と思ったら転倒という理解でいいか。

申請者

○ そうですね。インシデント報告に上がったものが対象になります。

【審査結果】

課題名② 精神科における転倒に関与する薬剤関連因子の検討（後ろ向きコホート研究）を承認してよろしいか
→承認とする。

以 上